



令和2年3月27日

各位

会社名株式会社 s M e d i o
代表者名 代表取締役社長 岩本 定則
(コード番号：3913 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 北 埜 弘 剛
(TEL. 03-6262-8660)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 開催状況

開催日時	令和2年3月27日 11:10~11:25
開催方法	対面による実開催
開催場所	鉄鋼会館7階 701会議室 (東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)
説明会資料名	2020年12月期 事業戦略説明資料

【添付資料】

説明会において使用した資料「2020年12月期 事業戦略説明資料」

以上



2020年12月期 事業戦略説明

1

デジタル家電 ソフトウェア

- 2019年12月時点で新4K/8K衛星放送視聴可能機器の国内出荷が312万台に到達*1
- PC、スマホ向けソフトウェア搭載需要が回復傾向

ロイヤリティ収入案件の積み上げを最優先。

- 既存製品の営業プッシュ。
- 4K/8K対応組み込みブラウザ機能拡張。
- 大手家電メーカー 4Kレコーダー向けソフトウェア納入。

2

建設AI + IoT ソリューション

- 必要労働者の不足（2025年で130万人の不足）*2
- i-Construction(国交省による建設現場へのICT導入促進)

サービス収入案件の積み上げを最優先。

- 「切羽AI評価システムサービス」パッケージの横展開。
- さらなるサービスパッケージ開発、販売。
 - コンクリート、アスファルトAI解析等

3

サービス収入モデル 立ち上げ

- (課題)ロイヤリティ収入や開発収入は顧客環境に左右されてしまうため、新たな収入モデルの構築し、収入モデルのポートフォリオ化が必要

製品ラインナップの拡充

- スマホ販売店向けJSバックアップの横展開。
- 建設AIサービスパックのラインナップ拡充

*1 一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、2020年1月24日に開催した「新4K8K衛星放送 視聴可能機器台数公表 記者発表会」の資料から抜粋。

*2 国土交通省が、2015年12月に発表したi-Construction委員会の資料から算出。

2019年は、ライセンス案件を複数個獲得できたことにより、今後のロイヤリティ収入の回復が期待できる1年となりました。

採用顧客一例

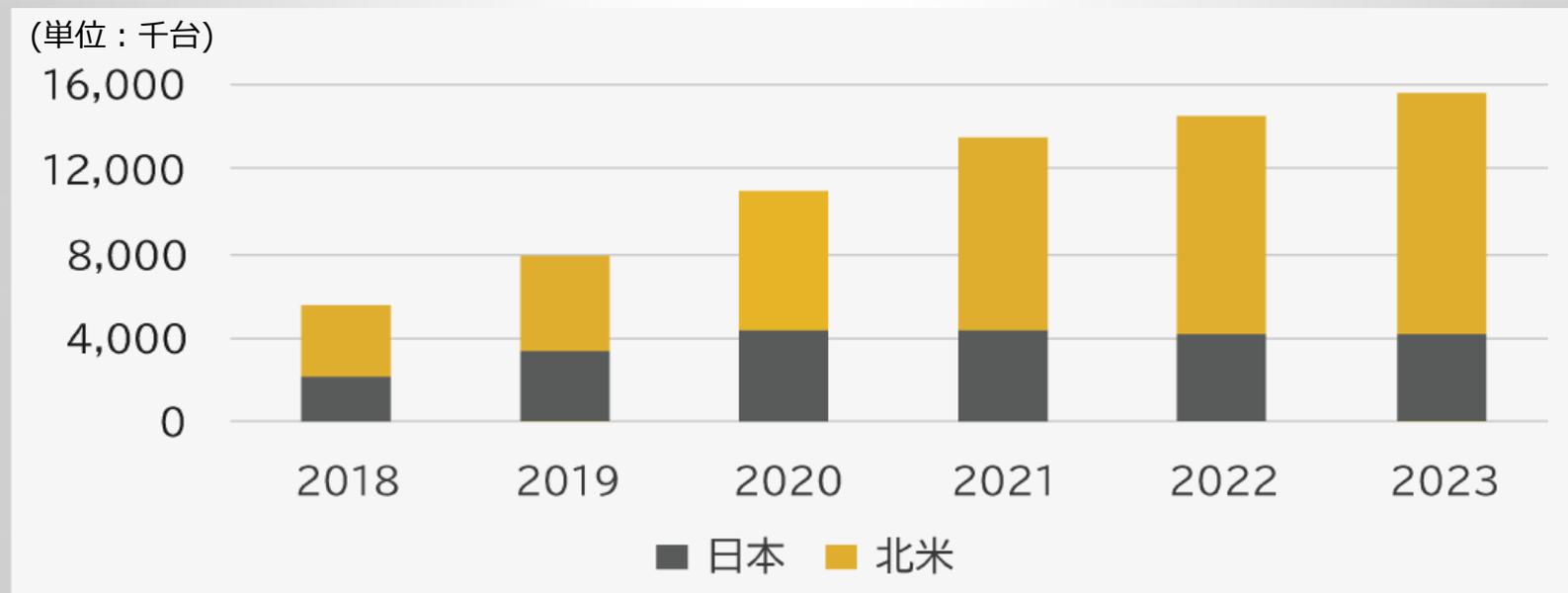
- 海外大手PCメーカー: TrueDVD搭載(2019/2出荷開始)
- シャープ AQUOSスマートフォン: JSバックアップ搭載(2019/5出荷開始)
- エプソンダイレクト PC: TrueDVD搭載 (2019/6出荷開始)
- シャープ AQUOS 4Kテレビ: tourbillon4搭載 (2019/7出荷開始)
- 大手家電メーカー 4Kレコーダー: スマートフォン連携アプリ搭載(2019/11出荷開始)

4K/8K高解像度ソリューション

- 40型以上のテレビにおいて、通信連携機能*1の搭載強化の流れにあります。ユーザーの利便性が高まることから、この機能関連で継続的な需要が見込まれます。当社tourbillon4(4K/8K組込みブラウザ)では、対応する機能拡張を行い、ロイヤリティ収入アップにつなげます。

*1 ここで指す通信連携機能とは、テレビの放送内容に関連した情報を表示可能とし、双方向通信による情報連携が可能となることで視聴者にとって個別に最適な情報を提供可能できる機能を指します。（例：テレビと連携した情報の取得、地域密着情報、緊急情報等）

放送と通信連携対応テレビの地域動向



2019年2月 一般社団法人 電子情報技術産業協会発行のAV & IT機器世界需要動向 P8「放送と通信連携対応テレビ」から抜粋。

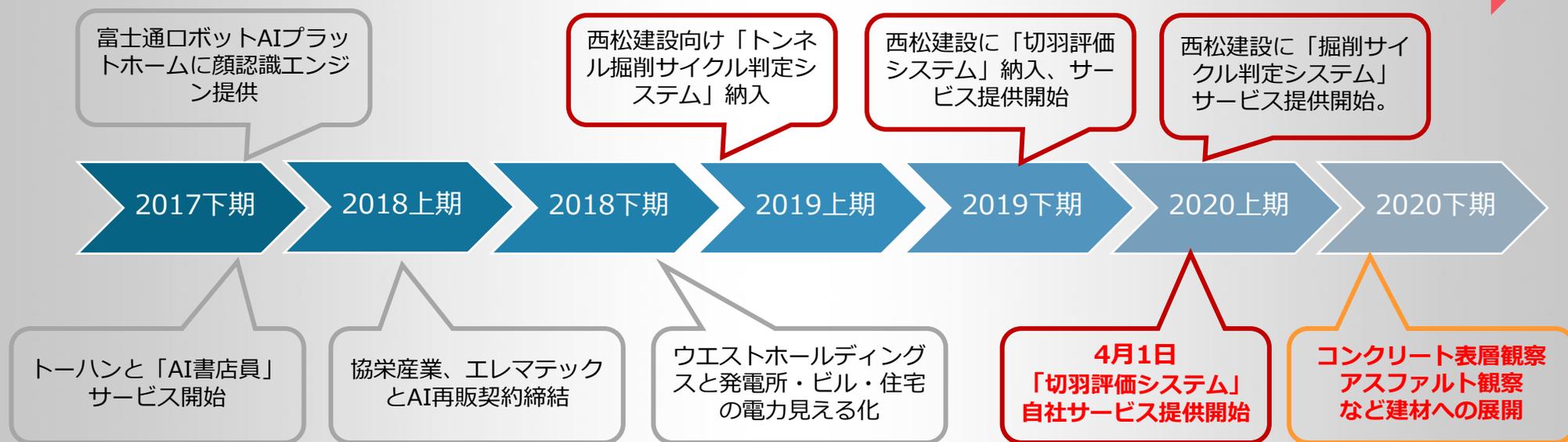
4K/8K高解像度ソリューション、デジタル家電ソフトウェア

- 大手家電メーカーの4Kレコーダー向けのsMedio 4K/8K高解像度再生ソリューションの納入が優先事項。納入完了による開発収入、製品出荷後のロイヤリティ収入が期待できます。
- パソコン、スマートフォン向けソフトウェア（映像再生等）の搭載需要が回復傾向にあることから、既存ソフトウェアの販売を強化します。

建設AI + IoTソリューション

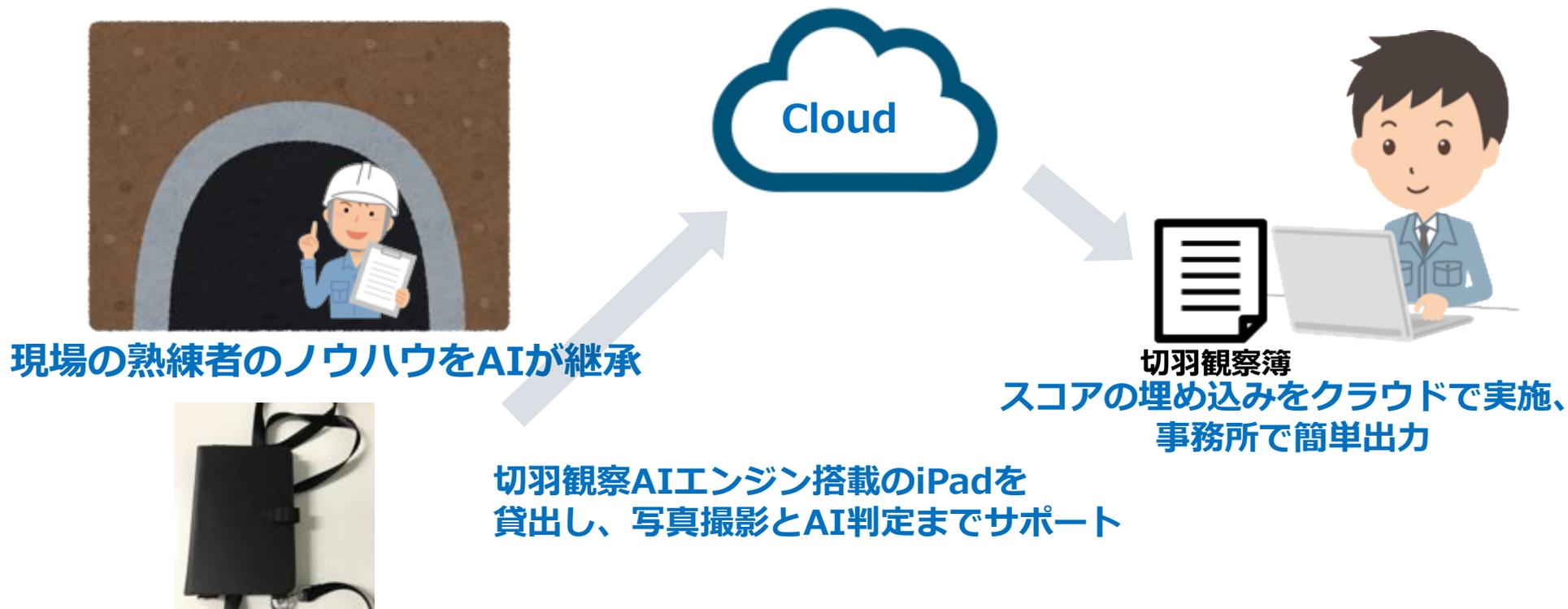
- 2019年下期より建設現場における特定課題を解決するAI + IoTソリューション提供に特化することに舵を切りました。
- 第1弾として、「切羽評価システム」の自社サービスパッケージ化完了、4月1日サービス提供開始。サービス収益を期待。他顧客への横展開を推進中。
- 他サービスパッケージの構築も進行中。

建設業界向け課題解決サービスに特化



「切羽AI評価システムサービス」概要

- 山岳トンネル掘削時の断面である「切羽(きりは)」の強度等を、画像AI処理で判定支援することに加え、その結果を切羽観察簿に自動反映することで、作成の手間を軽減するサービスを2020年4月1日よりサブスクリプションサービスとして開始します。



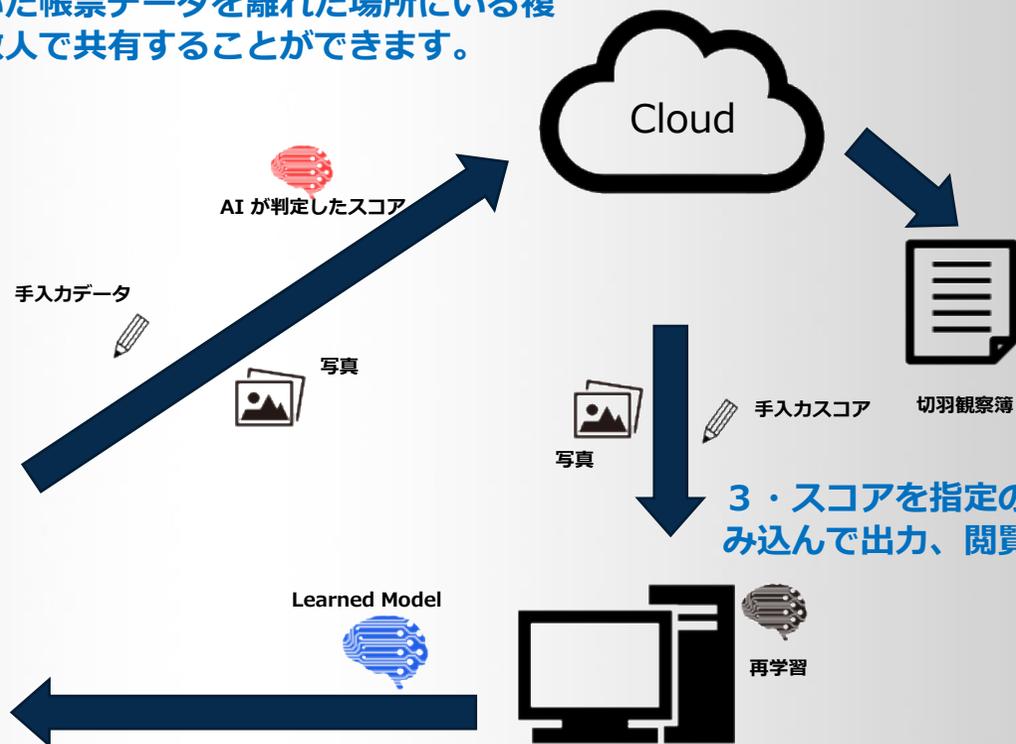
*iPad は、Apple Inc.の商標です。

「切羽AI評価システムサービス」構成図

1. 切羽のAI判定を写真撮影と同時に実行するため、iPad内にAIエンジを組み込んでいます。ネットワークがない環境でも使用できます。



2. スコアをクラウドで一元管理することで、従来まで個別のPC内で閉じていた帳票データを離れた場所にいる複数人で共有することができます。



3. スコアを指定の観察表に組み込んで出力、閲覧できます。

4. 学習エンジン、クラウドにある蓄積された切羽写真で再学習を行い、モデルを更新します。

*iPad は、Apple Inc.の商標です。

その他AIサービスパッケージの展開

2020年下期には、継続して以下のテーマでの研究開発及びサービスパッケージの開発を推進していきます。

土木・建築における熟練作業者のノウハウをAIによる認識エンジンで継承。

テーマ1

コンクリート面のAI解析

テーマ2

アスファルト面におけるAI解析

テーマ3

水質汚濁AI解析

サービス収入モデルの立ち上げ

- 当社の主な収入モデルは、ライセンス収入と開発収入になっております。
- 両収入モデルの課題点は、顧客の環境に左右され収入の振れ幅が大きい点になります。この課題を補う収入モデルの構築が必要です。
- サービス収入に紐付けられる製品群の開発を加速してまいります。
- 対象製品（2020年1月現在）
 - トンネル切羽評価システム
 - トンネル工程管理システム
 - スマホ販売店向けJSバックアップ
- 目標金額（2020年）
2019年の19百万円（実績）から、2020年は倍増の50百万円を目標。
2021年以降も、新たな案件獲得で、増収傾向の維持を目指す。

売上高	1,002百万円(前期比16.3%増)
営業損益	24百万円(黒字転換)
最終損益	10百万円(黒字転換)

上期：4K/8K高解像度ソリューション、デジタル家電向けソフトウェアのロイヤリティ収入の上積みによる、ロイヤリティ収入の底上げの実現。

下期：2021年以降のロイヤリティ収入の上積みを見込める、4K/8K高解像度ソリューションの開発納品を見込み、収益基盤の強化を図る。

通期：年間を通じて、建設業界向けAI+IoTソリューションの新規機能開発およびサービス拡張を図る。

- ◆本資料は、2020年3月27日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- ◆これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。

